

4 看護学科

(1) 教育理念と人材育成の目的

医学・医療がめざましい進歩を遂げる現在、看護職者には高度な知識・技術を修得するとともに幅広く医学・医療について総合的視点をもつことが求められている。また、体や心が病んだ患者を対象とする看護職者には、患者の気持ちを十分にくみとれる豊かな人間性が要求され、さらに人間・社会・環境を理解し、深い洞察力と総合的な判断力を身につけることが必要である。これら看護に必要な新しい知識、技術を身につけさせるため、実践的な教育を行う。

看護専門職者に求められる豊かな人間性と幅広い教養、高度な専門性を身につけ、人間の尊厳と確かな倫理観を備え、社会的要請に応じ地域社会並びに国際社会に貢献し、看護の発展に寄与できる人材の育成を目的とする。

(2) 教育課程の構成と概要

上記の目的を達成するために看護学科の教育課程は、①教養科目、②専門基礎科目、③専門科目から構成されている。

① 教養科目

「教養科目」は、総合領域、人間と文化、社会と制度、自然と科学、外国語、スポーツと健康の6分野から構成されており、1年次にほぼ必要単位を履修し、人間の尊厳を倫理面、制度・経済、文化など多角的な視点から理解を深めるための基盤づくりとしている。外国語分野では、国際言語学科を併設する本学の利点を生かし、「英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「中国語Ⅰ・Ⅱ」「ロシア語Ⅰ・Ⅱ」の多様な言語と、各言語の習熟度に応じた内容で選択科目を設けている。さらに、「看護基礎講座」では、看護の学習に必要な「課題発見・探求（解決）能力」と「コミュニケーション能力」を高めるよう設定している。

② 専門基礎科目

「専門基礎科目」は、専門科目における知識や技術を習得するための基盤となる「解剖学Ⅰ・Ⅱ」「生理学Ⅰ・Ⅱ」の知識の修得を図り、人間の健康を身体的・精神的・社会的な側面から多角的に捉えるため「病理学」「病態・治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「生涯発達論」「関係法規」「地域看護学概論」などを設けた。また医療人として重要な資質を育むよう「医学概論」「チーム医療概論」などの科目を設置している。

③ 専門科目

「専門科目」は、看護の理論や看護の基礎知識を学び、学内で看護技術を磨き、十分な知識と技術と、人間理解に配慮した態度を身につけて臨地実習に臨む。実習においても最初に基礎看護学臨地実習を学習しその後、成人看護学などの各領域別の臨地実習に進んでいく。それらの専門科目は看護学の概念的要素である「人間」「環境」「健康」「看護」の4要素から成り立っている。基礎看護学を基盤とし、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護学において対象者のライフステージに合わせた看護実践を学ぶように科目を構成している。

「看護の統合」では、「看護マネジメント論」「リスクマネジメント論」「国際看護学」「災害看護学」「看護研究Ⅰ・Ⅱ」など、将来看護専門職業人として活躍し、発展していくための学習を行う。また、4年次にこれまで学んだ知識を統合しながら「看護実践マネジメント実習」を行う。

(3) 履修の方法

① 卒業に必要な単位（表1参照）

卒業に必要な単位は124単位である。教養科目必修3単位、専門基礎科目必修33単位、専門科目必修77単位、選択科目11単位以上、合計124単位以上を卒業までに取得しなければならない。卒業要件を満たしたものは、学士（看護学）看護師国家試験受験資格が与えられる。

② 進級要件（表1参照）

i) 1年次から2年次への進級要件

1年次に配当されている必修科目を原則としてすべて修得していること。

ii) 2年次から3年次への進級要件

- 2年次までに配当されている必修科目を原則としてすべて修得していること。
- iii) 3年次から4年次への進級要件
3年次までに配当されている必修科目を原則としてすべて修得していること。

③ 選択科目の履修方法

選択科目は、教養科目34単位、専門基礎科目1単位、専門科目1単位で構成され、年次によって構成配分が定められている(表2参照)。また卒業要件の選択科目11単位以上には、履修規定があり教養科目の7科目11単位を含まなければならない(表3参照)。2年次以降専門基礎科目と専門科目が多くなるため、1年次のうちに教養科目から11単位以上の選択科目を履修しておくことを勧める。

表1 進級・卒業要件

区分	2年次への進級要件	3年次への進級要件	4年次への進級要件	卒業要件	
必修	32単位	77単位	98単位	113単位	124単位以上
選択	表2参照			11単位以上※	

※注 履修規定あり

卒業要件を満たすには、選択科目のうち教養科目について下記表3に示す分野ごとの科目・単位数以上を履修する必要がある

表2 選択科目の年次配分

年次	1年次	2年次	3年次	4年次	計
教養科目	20科目 32単位	1科目 1単位	1科目 1単位		22科目 34単位
専門基礎科目			1科目 1単位		1科目 1単位
専門科目				1科目 1単位	1科目 1単位
科目 単位 計	20科目 32単位	1科目 1単位	2科目 2単位	1科目 1単位	24科目 36単位

表3 選択科目に関する履修規定

分野	分野別科目数・単位数の年次配分			卒業要件に含む選択科目数と単位数
	1年次	2年次	3年次	
人間と文化	5科目 10単位			1科目 2単位
社会と制度	2科目 4単位		1科目 1単位	1科目 2単位
自然と科学	5科目 10単位			2科目 4単位
外国語	6科目 6単位	1科目 1単位		2科目 2単位
スポーツと健康	2科目 2単位			1科目 1単位
科目 単位 計	20科目 32単位	1科目 1単位	1科目 1単位	7科目 11単位

(4) 取得可能な資格

看護師国家試験受験資格

(5) 臨地実習について

① 臨地実習のねらい

臨地実習は、既習の教養科目と専門科目の知識と技術を統合し、人々に看護援助を行い、看護学への理解と思考力を深めて、看護の基本的な実践能力を養う。臨地実習の看護援助を通して、自らの看護観を確立するとともに自身の成長と人間観を育成する。

② 看護学実習の履修要件

看護学実習を履修するには、各実習が該当する学年への進級要件をみたしていること、且つ以下の科目の履修をしていることが必要である。

実習科目名	履修要件科目名
基礎看護学実習Ⅱ	看護栄養学、病理学、病態・治療学Ⅰ～Ⅲ、臨床検査概論、日常生活援助技術Ⅱ、診療補助看護援助技術、看護過程論
母性看護学実習	母性看護学援助論Ⅱ・Ⅲ
小児看護学実習	小児看護学援助論Ⅱ
成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ	成人看護学援助論Ⅳ・Ⅴ